

# 奥州市景気動向調査

実績：令和8年1月～令和8年3月期 見通し：令和8年4月～令和8年6月期

令和8年5月

調査機関：奥州商工会議所・前沢商工会

## ◇今期のポイント

### 「業況・売上DI値共に前回調査よりも改善 しかし先行き見通しは悪化を示す」

- 全産業合計の業況DIは▲16.8と、前回調査(▲23.1)から6.3ポイント改善した。
- 全産業合計の売上DIは▲15.9と、前回調査(▲24.8)から8.9ポイント改善した。
- 向こう3ヵ月(4月～6月)の先行き見通しは、業況DI・売上DI共に今期実績よりも悪化する見通しとなった。
- 採算DI、仕入単価DIは前回よりも悪化、資金繰りDIは前回よりも改善を示し、従業員DIは前回調査よりも人手不足感が強まる結果となった。

【定例調査】 今回の調査では、全産業合計の業況DIは前回調査から6.3ポイント上昇して▲16.8となり、前回調査時の見通し▲17.9よりも若干の改善を示す結果となった。売上DIについても前回調査から8.9ポイント上昇して▲15.9となり、前回調査時の見通し▲24.3よりも改善を示す結果となった。業種別でみると、小売業・製造業・サービスが業況・売上DI共に改善を示している。向こう3ヵ月の見通しは昨今の中東情勢の影響が色濃く反映され、業況・売上DI見通し共に今期実績よりも悪化を示している。業種別でみると、業況DI見通しについては全業種で悪化を示し、売上DI見通しについては製造業のみが改善、小売業・卸売業・建設業・サービス業が悪化を示している。

【臨時調査】 高校生のインターンシップの受け入れ実績があるかどうかについては、業種全体で「ある」が36.2%、「ない」が63.8%と回答した。「ある」と回答した事業所に受け入れ実績の程度を尋ねたところ、業種全体で「毎年受け入れ」が45.8%あり、その目的は「採用活動の一環として自社を認知してもらうため」と「地域・社会貢献のため」が多く、約80%の事業所が「今後もインターンシップを受け入れたい」と考えている。一方「ない」と回答した事業所にその理由を尋ねたところ「受け入れるためのノウハウがない」「受入れ現場や担当者の負担が大きい」という回答が多かった。

【自由意見】 全業種から昨今の中東情勢に対する不安の声が挙げられた。「原油価格高騰」「ナフサ高騰の影響」「燃料費、原材料費の上昇」「コスト増加で利益幅が減少」「材料供給が滞り始めている」等々の意見が出ており、今後も予断を許さない状態が続くと思われる。

## 〔 調 査 要 領 〕

- 調査期間：令和8年4月1日～27日
- 調査方法：奥州市内の事業所から業種・規模を勘案して抽出した300事業所に対しFAXによるアンケート調査を実施
- 調査項目：令和8年1月～令和8年3月の業況、売上、採算などについての状況及び自社が直面する問題点等

### 《調査票回収企業数》

回答数235 回収率78.3% (小売43 ・卸売27 ・製造51 ・建設51 ・サービス63)

### ※景況判断指数(DI値)について

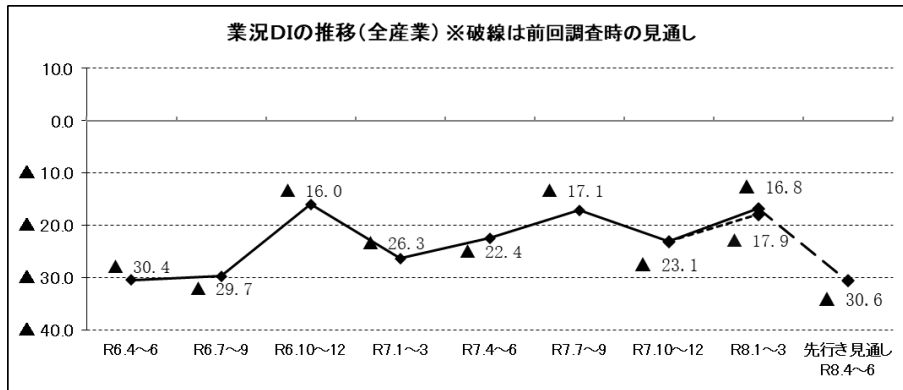
DI値は、業況・売上・採算等の各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりの意味する。

$$\diamond DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$$

### 【業況DIの推移】

今回調査の全産業合計の業況DIは▲16.8と、前回調査(▲23.1)から6.3ポイント改善した。業種別では小売業が▲7.1(前回調査▲18.2)と11.1ポイントの改善、卸売業が▲18.5(前回調査▲24.1)と5.6ポイントの改善、製造業が▲20.0(前回調査▲27.7)と7.7ポイントの改善、サービス業が▲9.7(前回調査▲21.3)と11.6ポイントの改善を示している。一方で、建設業が▲29.4(前回調査▲25.0)と4.4ポイントの悪化を示している。

向こう3ヵ月(4月～6月)の業況DIの先行き見通しについては▲30.6と、前回の調査見通し(▲17.9)及び今期実績よりも悪化する見通しとなった。業種別では全業種で数値が悪化の見通しを示している。



業況DI業種別

実績	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	▲7.1	▲18.5	▲20.0	▲29.4	▲9.7
前回	▲18.2	▲24.1	▲27.7	▲25.0	▲21.3
見通し	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	▲37.2	▲29.6	▲29.2	▲37.3	▲21.7
前回	▲11.4	▲24.1	▲23.4	▲25.0	▲9.8

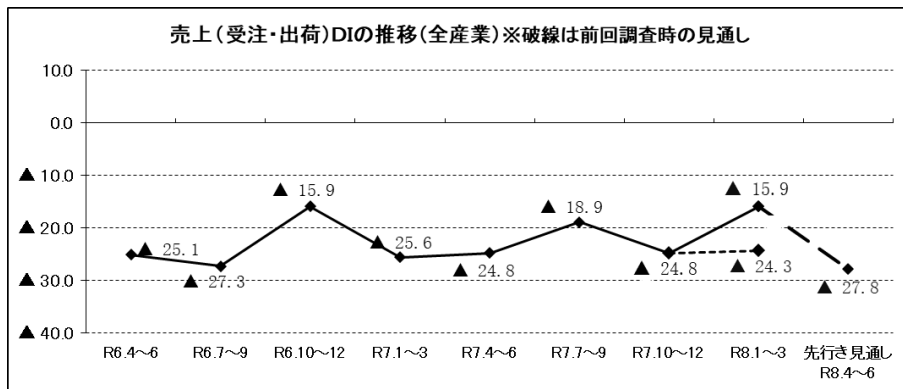
※前回調査との対比を表す「矢印」について

30.0以上	▲
20.0～29.9	▲
1.0～19.9	▲
0.9～▲0.9	▲
▲1.0～▲19.9	▲
▲20.0～▲29.9	▲
▲30.0以下	▲

### 【売上DIの推移】

今回調査の全産業合計の売上DIは▲15.9と、前回調査(▲24.8)から8.9ポイント改善した。業種別では小売業が▲7.0(前回調査▲11.4)と4.4ポイントの改善、製造業が▲14.0(前回調査▲36.2)と22.2ポイントの改善、建設業が▲31.4(前回調査▲35.4)と4.0ポイントの改善、サービス業が▲3.2(前回調査▲16.1)と12.9ポイントの改善を示している。一方で、卸売業が▲33.3(前回調査▲27.6)と5.7ポイントの悪化を示している。

向こう3ヵ月(4月～6月)の売上DIの先行き見通しについては▲27.8と、前回の調査見通し(▲24.3)及び今期実績よりも悪化する見通しとなった。業種別では製造業で数値が改善の見通し、小売業・卸売業・建設業・サービス業で数値が悪化の見通しを示している。



売上DI業種別

実績	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	▲7.0	▲33.3	▲14.0	▲31.4	▲3.2
前回	▲11.4	▲27.6	▲36.2	▲35.4	▲16.1
見通し	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	▲30.2	▲29.6	▲22.9	▲35.3	▲23.0
前回	▲9.3	▲27.6	▲34.0	▲32.7	▲19.4

【採算・資金繰り・仕入単価・従業員D I】

採算DI

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	▲ 28.8	▲ 11.6	▲ 29.6	▲ 28.0	▲ 35.3	▲ 35.5
前回	▲ 26.6	▲ 18.2	▲ 31.0	▲ 31.9	▲ 25.5	▲ 27.4
見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	▲ 38.0	▲ 39.5	▲ 37.0	▲ 38.3	▲ 43.1	▲ 32.8
前回	▲ 23.9	▲ 11.4	▲ 20.7	▲ 34.0	▲ 27.1	▲ 24.2

全産業合計の採算DIは▲28.8と、前回調査(▲26.6)から2.2ポイント悪化した。業種別では小売業・卸売業・製造業で数値が改善、建設業・サービス業で数値が悪化を示している。

※DI値=(好転)-(悪化)

資金繰りDI

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	▲ 16.8	▲ 11.6	▲ 11.1	▲ 10.0	▲ 23.5	▲ 23.0
前回	▲ 17.5	▲ 20.5	▲ 17.2	▲ 17.0	▲ 20.8	▲ 13.3
見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	▲ 21.9	▲ 21.4	▲ 18.5	▲ 27.1	▲ 25.5	▲ 16.7
前回	▲ 19.7	▲ 13.6	▲ 20.7	▲ 25.5	▲ 24.5	▲ 15.0

全産業合計の資金繰りDIは▲16.8と、前回調査(▲17.5)から0.7ポイント改善した。業種別では小売業・卸売業・製造業で数値が改善、建設業・サービス業で数値が悪化を示している。

※DI値=(好転)-(悪化)

仕入単価DI

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	▲ 79.7	▲ 79.1	▲ 85.2	▲ 74.0	▲ 84.3	▲ 78.7
前回	▲ 70.5	▲ 84.1	▲ 75.0	▲ 58.7	▲ 66.7	▲ 70.5
見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	▲ 81.6	▲ 74.4	▲ 85.2	▲ 87.5	▲ 88.0	▲ 75.0
前回	▲ 61.1	▲ 65.9	▲ 64.3	▲ 56.5	▲ 59.6	▲ 60.7

全産業合計の仕入単価DIは▲79.7と、前回(▲70.5)から9.2ポイント悪化した。業種別では小売業で数値が改善、卸売業・製造業・建設業・サービス業で数値が悪化を示している。

※DI値=(下落)-(上昇)

従業員DI

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	33.2	28.6	22.2	30.0	39.2	38.7
前回	31.0	27.3	24.1	32.6	39.6	29.0
見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	32.5	31.0	25.9	27.1	36.0	37.7
前回	29.4	27.3	24.1	29.8	30.6	32.3

全産業合計の従業員DIは33.2と、前回(31.0)から2.2ポイント人手不足感が強まる結果となった。業種別では小売業・サービス業で人手不足感が強まり、卸売業・製造業・建設業で人手不足感が緩和する結果となった。

※DI値=(不足)-(過剰)

【経営環境】

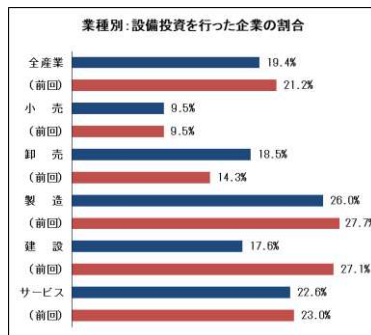
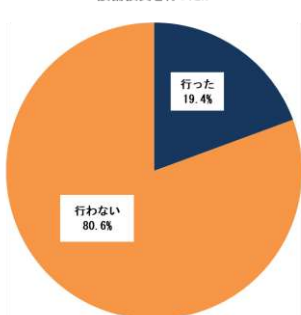
天候の影響(%)	好影響	影響なし	悪影響
全産業	5.2%	78.8%	16.0%
(前回)	3.6%	75.1%	21.3%
小売業	7.1%	76.2%	16.7%
(前回)	2.3%	74.4%	23.3%
卸売業	11.1%	70.4%	18.5%
(前回)	7.2%	71.4%	21.4%
製造業	4.0%	88.0%	8.0%
(前回)	0.0%	86.7%	13.3%
建設業	3.9%	72.6%	23.5%
(前回)	6.2%	64.6%	29.2%
サービス業	3.3%	82.0%	14.7%
(前回)	3.3%	77.0%	19.7%

人件費率(%)	上昇	変化なし	低下
全産業	51.8%	44.3%	3.9%
(前回)	52.0%	44.1%	3.9%
小売業	41.5%	53.6%	4.9%
(前回)	43.2%	52.3%	4.5%
卸売業	44.4%	55.6%	0.0%
(前回)	48.3%	48.3%	3.4%
製造業	56.0%	44.0%	0.0%
(前回)	51.1%	44.7%	4.2%
建設業	56.0%	36.0%	8.0%
(前回)	52.1%	41.7%	6.2%
サービス業	55.0%	40.0%	5.0%
(前回)	60.7%	37.7%	1.6%

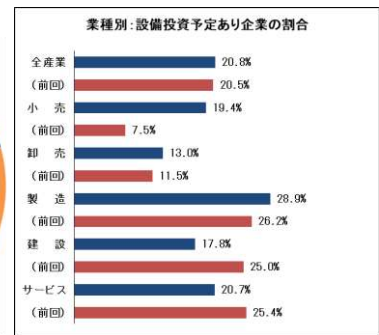
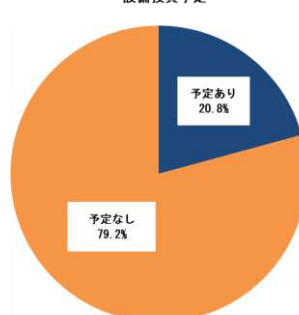
業種間競争(%)	緩和	変化なし	激化
全産業	0.9%	69.2%	29.9%
(前回)	1.4%	65.3%	33.3%
小売業	2.5%	70.0%	27.5%
(前回)	2.4%	64.3%	33.3%
卸売業	0.0%	58.3%	41.7%
(前回)	0.0%	60.7%	39.3%
製造業	2.0%	85.7%	12.3%
(前回)	0.0%	71.1%	28.9%
建設業	0.0%	46.9%	53.1%
(前回)	2.2%	50.0%	47.8%
サービス業	0.0%	78.0%	22.0%
(前回)	1.6%	75.4%	23.0%

天候の影響は、全産業で好影響が5.2%、影響なしが78.8%、悪影響が16.0%の回答となった。人件費率は、全産業で上昇が51.8%、変化なしが44.3%、低下が3.9%という回答となった。業種間競争は、全産業で緩和が0.9%、変化なしが69.2%、激化が29.9%という回答となった。

設備投資を行ったか



設備投資予定

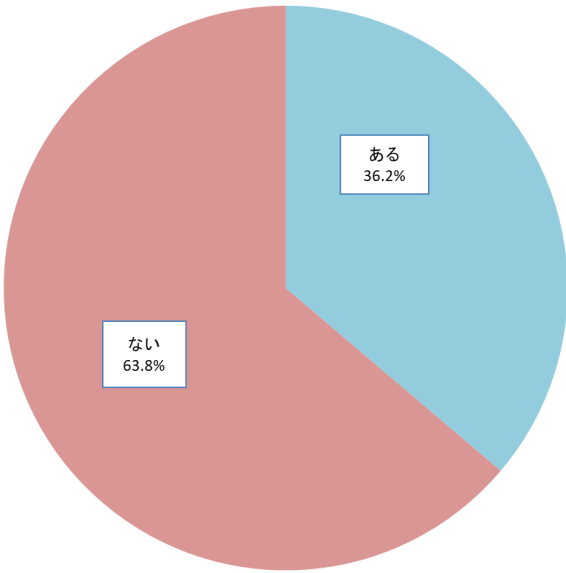


設備投資は全産業で19.4%の事業所が「行った」と回答があり、前回数値(21.2%)よりも減少した。今後、設備投資の予定があると答えた事業所は20.8%となり前回調査(20.5%)よりも増加した。

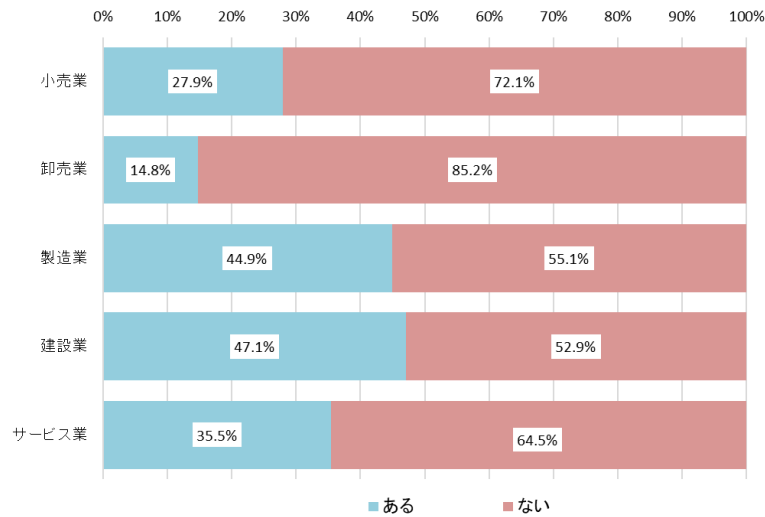
## 【臨時調査】企業のインターンシップ（高校生）受け入れについて

これまでに高校生のインターンシップ（職場体験）の受け入れ実績があるかどうかを尋ねたところ、業種全体では「ある」が36.2%、「ない」が63.8%となった。業種別では、「ある」と回答した割合が最も高いのが建設業で47.1%、次いで製造業が44.9%となった。一方最も低いのは卸売業で14.8%となった。

貴社ではこれまでに高校生のインターンシップの受入実績はありますか（全産業）

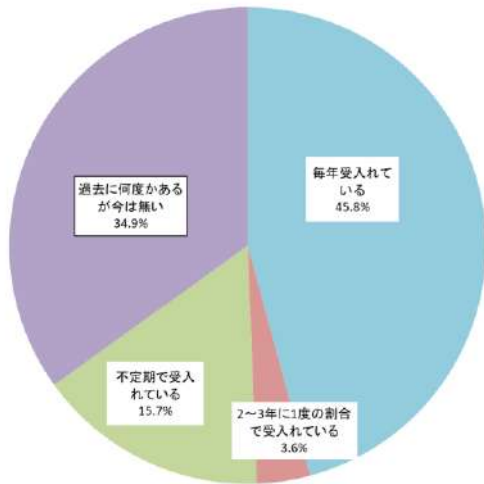


貴社ではこれまでに高校生のインターンシップの受入実績はありますか（業種別）



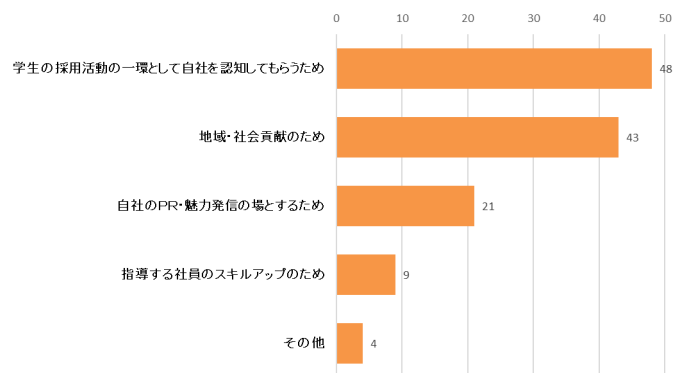
前記「高校生のインターンシップ（職場体験）の受け入れ実績があるかどうか」の質問で「ある」と回答した事業所に、受入れの実績はどの程度かを尋ねたところ、業種全体で「毎年受け入れている」が45.8%、「2～3年に1度の割合で受け入れている」が3.6%、「不定期で受け入れている」が15.7%となった。一方「過去に何度かあるが今は無い」は34.9%となった。

【ある】受入れの実績はどの程度ですか（全産業）

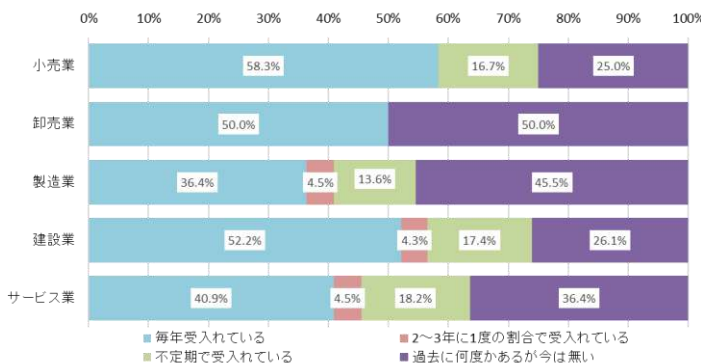


「ある」と回答した事業所に受入れの主な目的を複数回答で尋ねたところ、「学生の採用活動の一環として自社を認知してもらうため」と「地域・社会貢献のため」という回答が多数を占めている。

「ある」受け入れの主な目的は何ですか（全業種）(複数回答：件数)



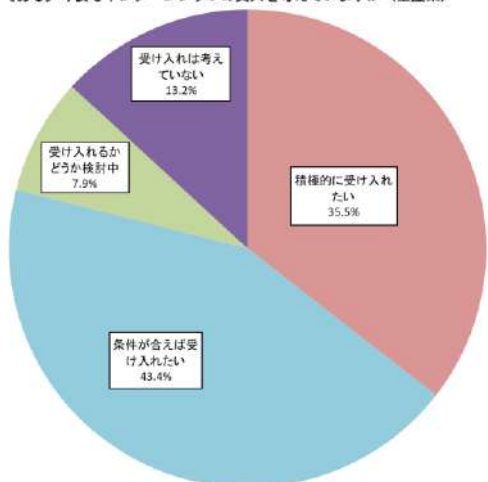
【ある】受入れの実績はどの程度ですか（業種別）



(9-3：受入れの主な目的は何ですか) その他の意見  
 ・学校から受入れ依頼がある（製造業、サービス業）  
 ・親からの希望（建設業）

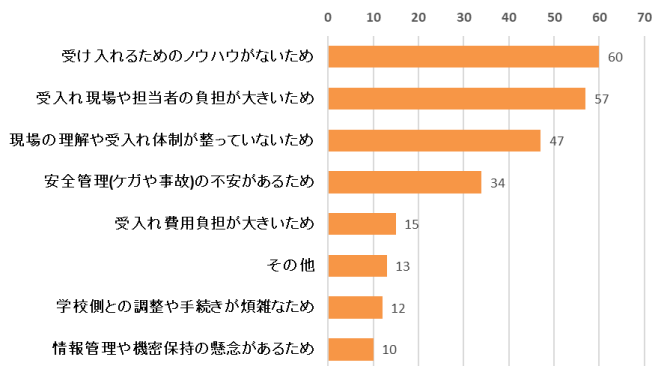
「ある」と回答した事業所に、今後もインターシッの受け入れを考えているかを尋ねたところ、業種全体で「積極的に受け入れたい」が35.5%、「条件が合えば受け入れたい」が43.4%、合わせて78.9%となり、約80%の事業所が「今後もインターシッを受け入れたい」と考えている事が伺える。一方「受け入れるかどうか検討中」が7.9%、「受け入れは考えていない」が13.2%となった。

【ある】今後もインターシッの受入を考えていますか（全産業）

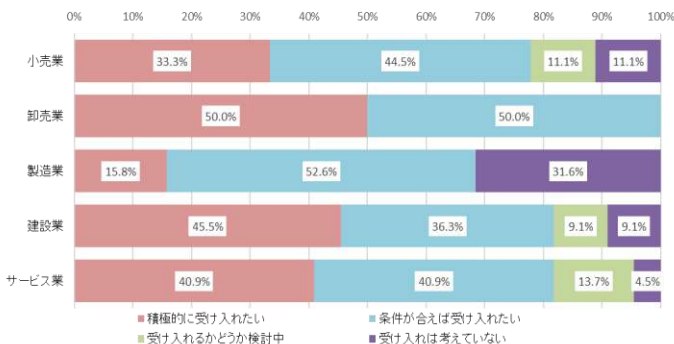


前記「高校生のインターンシップ（職場体験）の受け入れ実績があるかどうか」の質問で「ない」と回答した事業所にその理由を複数回答で尋ねたところ、「受け入れるためのノウハウがないため」「受入れ現場や担当者の負担が大きいため」「現場の理解や受入れ体制が整っていないため」という回答が多く寄せられた。

(9-2)「ない」その理由は何ですか(全業種):件数



【ある】今後もインターンシップの受入を考えていますか（業種別）



(9-2: その理由は何ですか) その他の意見(抜粋)

- ・酒小売なので未成年では業種が合わない(小売業)
- ・問い合わせが無い(製造業)
- ・高校との繋がりが薄い(サービス業)
- ・機密情報を取り扱っているため(サービス業)

【自由意見(抜粋)】

(小売業)

- ・大手ホームセンターや中古センター、ネットには価格面で負けるため、薄利多売は難しい。
- ・各種値上げが激しく、商品の入荷も遅れている。
- ・石油製品の安定供給が続くことを願っている。単価の上げ下げが激しい。

(卸売業)

- ・人件費、仕入れコスト、ガソリン価格等全て上昇傾向にあり苦勞している。売価に転嫁する方法で対応している。
- ・アメリカのイラン攻撃によるホルムズ海峡の封鎖は全世界に大きな混乱を生じさせ、不安を感じる。一日も早い戦争終結を願いたい。
- ・中東問題が大きく影響する事により、コスト増加で利益幅が減少している。国の早急な対応が必要である。
- ・人件費や燃料費等経費が大幅に増加している。市や県からの中小企業の助成があればと思う。
- ・中東情勢の影響で入荷が滞っている商品がある。

(製造業)

- ・自分たちでコントロール出来ない対外要因が大きい(中東情勢)
- ・中東情勢の影響により資材不足が今後どこまで続くのか不安である。
- ・今後3カ月の見通しが不透明。イラン情勢で燃料費、原材料費の上昇が懸念される。
- ・中東情勢にかなり左右されている。石油が入ってこない事により、材料供給が滞り始めている。

(建設業)

- ・戸建て住宅の現場が非常に少なく見える。全般的に着工件数が少ない。
- ・同業他社もそうだが人手不足が深刻だ。
- ・ナフサ高騰の影響を受けて大変である。市内の景気刺激策を打ってほしい。
- ・若年労働者が不足している。

(サービス業)

- ・燃料費を始めとして資材費の高騰が心配だ。
- ・必要経費の見直しをしている。
- ・イラン情勢次第である。
- ・原油価格高騰による原材料価格の高騰が大変だ。

◇奥州市景気動向調査票《実績1~3月期》

いつも大変お世話になっております。

標記につき、当てはまると思うものに✓をつけ「4月10日(金)」までにご返信をお願い致します。

※この調査票の個別の記載情報は奥州商工会議所・前沢商工会内限りと致します。

事業所名

(1) 業 種：あなたの事業の業種についてお答え下さい。

- A 小売業     B 卸売業     C 製造業     D 建設業     E サービス業

(2) 業況判断：あなたの企業の業況は、前年同期（1月~3月）と比較してどのような状況と判断されますか？

- ①1~3月実績  好転  変わらず  悪化    ②向こう3ヶ月見通し  好転  変わらず  悪化

(3) 売上高：売上高（受注高・出荷高）は、前年同期（1月~3月）と比較してどうですか？

- ①1~3月実績  増加  変わらず  減少    ②向こう3ヶ月見通し  増加  変わらず  減少

(4) 採 算：採算は、前年同期（1月~3月）と比較してどうですか？

- ①1~3月実績  好転  変わらず  悪化    ②向こう3ヶ月見通し  好転  変わらず  悪化

(5) 資金繰り：資金繰りは、前年同期（1月~3月）と比較してどうですか？

- ①1~3月実績  好転  変わらず  悪化    ②向こう3ヶ月見通し  好転  変わらず  悪化

(6) 仕入単価：仕入単価は、前年同期（1月~3月）と比較してどうですか？

- ①1~3月実績  下降  変わらず  上昇    ②向こう3ヶ月見通し  下降  変わらず  上昇

(7) 従業員数：従業員数は、前年同期（1月~3月）と比較してどうですか？

- ①1~3月実績  不足  適正  過剰    ②向こう3ヶ月見通し  不足  適正  過剰

(8) 経営環境：1月~3月の経営状況について、該当する項目にお答え下さい。

- ①天候の影響  好影響  影響なし  悪影響    ②人件費率  上昇  変化なし  低下

- ③競 争  緩和  変化なし  激化

- ④設備投資  行った  行わない    ⑤設備投資予定(今後3ヵ月以内)  予定あり  予定無し

◎臨時調査【企業のインターンシップ受け入れについて】

(9-1)：貴社ではこれまでに高校生のインターンシップ（職場体験）の受け入れ実績はありますか？

あ る

な い

※「ある」と回答した事業所

(9-2)：受入れの実績はどの程度ですか？

- 毎年受入れている     2~3年に1度の割合で受入れている  
 不定期で受入れをしている     過去に何度かあるが今は無い

(9-3)：受入れの主な目的は何ですか？（複数回答可）

- 学生の採用活動の一環として自社を認知してもらうため  
 自社のPR・魅力発信の場とするため  
 指導する社員のスキルアップのため  
 地域・社会貢献のため  
 その他（\_\_\_\_\_）

(9-4)：今後もインターシップの受け入れを考えていますか？

- 積極的に受け入れたい     条件が合えば受け入れたい  
 受け入れるかどうか検討中     受け入れは考えていない

※「ない」と回答した事業所

(9-2)：その理由は何ですか（複数回答可）

- 受入れ現場や担当者の負担が大きいため  
 受け入れるためのノウハウがないため  
 受入れ費用負担が大きいため  
 情報管理や機密保持の懸念があるため  
 安全管理(ケガや事故)の不安があるため  
 現場の理解や受入れ体制が整っていないため  
 学校側との調整や手続きが煩雑なため  
 その他（\_\_\_\_\_）

◎その他、最近の業況について感じている事、取り組んでいる対策について自由にご記入下さい。